



Nomura Research Institute

2023 年 5 月 12 日

株式会社野村総合研究所

野村総合研究所が提供する SmartBridge Advance で、米国株式の 決済期間短縮に向けた新サービスを提供

～グローバルポストトレード業務をサポートするプラットフォームへ～

株式会社野村総合研究所（以下「NRI」）は、資産運用会社向けに提供している有価証券の受発注管理システム「SmartBridge Advance（以下「SBA」）」¹において、2023 年夏頃から新サービスを提供します。

これは、米国における有価証券の清算決済機関である Depository Trust & Clearing Corporation（以下「DTCC」）と共同で実施するものであり、DTCC が提供している資産運用会社と証券会社の約定データ照合を自動化するプラットフォーム「CTM」²を SBA と直結し、約定データの自動連携を図ります。

これにより、以下のことが可能となり、米国で 2024 年 5 月 28 日から始まる株式の決済期間短縮に対応できるようになります。

- ・資産運用会社のトレーダーが SBA に入力した注文データをそのまま CTM に伝送し、CTM で自動的に約定照合することから、資産運用会社と証券会社間の約定照合が早期化します。

- ・DTCC が提供する決済情報共有データベース「ALERT」³や約定照合後の決済指図送信を自動化するサービス「Settlement Instruction Manager (SIM)」⁴とも連動します。

- ・資産運用会社と証券会社間の発注および照合から、海外カストディアン⁵への決済指図を含めたポストトレード業務⁶全般の早期化を実現します。

■ SBA の今後の機能拡張について

今後 SBA は、米国株式の決済期間短縮化に向けた CTM との直結に加え、利用時間を日本の夜間や祝日まで拡大することで、米国での営業時間中にもポストトレード業務が可能となります。こちらについては、外国株式への対応は 2023 年夏頃、債券などその他資産への対応は 2024 年春頃を予定しています。また、資産運用会社から要望の多い「外国株式の一括発注機能」も併せて提供を開始します。

NRI は今後も、資産運用業界を支援するさまざまなサービスを提供し、資産運用会社の業務効率化・高度化に貢献していきます。

-
- 1 資産運用会社におけるファンドマネージャー業務やトレーディング業務などのフロント業務全般を、バックオフィス業務と連携して支援する NRI のシステムソリューション：https://www.nri.com/jp/service/solution/fis/smartbridge_advance
 - 2 約定照合を自動化するサービスであり、国内取引・クロスボーダー取引共に対応。株式、債券をはじめ、さまざまなアセットクラスに対応：<https://www.dtcc.com/institutional-trade-processing/itp/ctm>
 - 3 決済情報（SSI）をグローバルで共有し、決済情報が不正確なことで発生する決済日に証券の受け渡しが行われないケース（フェイル取引）の大幅な削減につながるサービス：<https://www.dtcc.com/institutional-trade-processing/itp/alert>
 - 4 業界標準のフォーマットで決済指図を自動作成・送信するため業務のコスト・リスク低下につながる業務効率化が可能となる：<https://www.dtcc.com/institutional-trade-processing/itp/settlement-instruction-manager>
 - 5 投資家に代わって有価証券の管理（カストディ）を行う金融機関
 - 6 株などの証券売買の完了後から、実際の受け渡しである証券と資金の決済までの間に行われる各種業務

【お知らせに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 吉田、坂
TEL：03-5877-7100 E-mail：kouhou@nri.co.jp

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 資産運用サービス事業一部 佐藤
TEL：045-613-7096 E-mail：sba-help@nri.co.jp